

令和5年度 緑が丘小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

- (1) 基本目標
実践を通して、自ら学び続ける力を身につけながら、心豊かにたくましく生きていく児童の育成
- (2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）
【合言葉】みどりの子 明るく やさしく 根気よく
「自分をつくり自立する子（生きる力）」
- ・友達をつくり力を合わせる子（社会性）
 - ・豊かな心をつくる子（感受性・主体性）
 - ・丈夫な体をつくる子（意欲・気力・体力）
 - ・確かな考えをつくる子（課題解決力）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

誰もが生き生きとかがやく学校

- ◇ 子供一人一人が認められ、夢や目標に向かって意欲的に学ぶ学校
- ◇ 教職員がそれぞれの専門性を発揮し、協働できる学校
- ◇ 家庭や地域とのつながり(情報共有)を大切にし、保護者や地域住民から信頼される学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

豊かななかかわりを通して、共に学び、生き生きとかがやく学校

- (1) 豊かななかかわりとは (a)
- 子供一人一人のよさが生かせ、かかわったことでさらに学びが深まる
- ・子供同士、教職員、家族、地域の方々（人）
 - ・各教科や学校行事などカリキュラムマネジメント（教育課程）
 - ・豊かにする場の工夫（交流（授業、図書、ボランティア活動、異学年））（場）
 - ・地域の教育資源等の効果的な活用
- (2) 共に学びとは(b)
- 自他のよさを生かし他と協働しながらよりよい社会を創造していく
- (3) 生き生きとかがやくとは(c)
- ・子供が自分の変容を実感する（例：頑張れるようになった自分を知る）
 - ・子供の達成感や成就感を実感する
 - ・それぞれの立場から役割分担をしながら推進する
- 教職員：新学習指導要領における学力の向上 自己肯定感の育成
家族：基本的な生活習慣の育成 安心した自己を表出できる場
地域：社会との架け橋 子供一人一人のよさを生かしかわったことでさらに学びが深まる。

【陽南地域学校園教育ビジョン】

主体的に活動できる子どもを育む小中一貫教育 ～子供の自主的な活動を通して～

4 教育課程編成の方針

- ① 新学習指導要領の趣旨を理解し、「主体的・対話的で深い学び」のある教育を実現する。(b, c)
 - ・児童の問題意識の重視、互いのよさが生きる場の設定、自分の学びを確認する時間
- ② 学年・教科等のカリキュラムマネジメントにより、教育活動相互の関連や地域の教育資源の活用を充実する。(a)
 - ・教科関連の見直し、年計の改善
- ③ 児童や学校経営に関する各種調査結果をもとに、より実態に即した創意ある教育課程の改善を行う。(b, c)
 - ・学校行事等各種教育活動における目標の確認と具現化の工夫
- ④ 児童一人一人のよさが生きる豊かななかかわりを充実させるため、多様な集団による教育活動を工夫する。(a)
 - ・豊かななかかわりの確認と、新たななかかわりの工夫

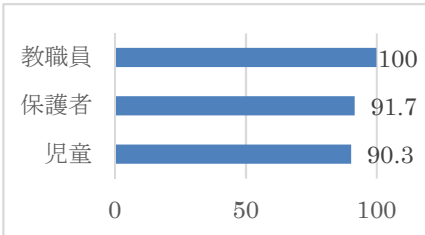
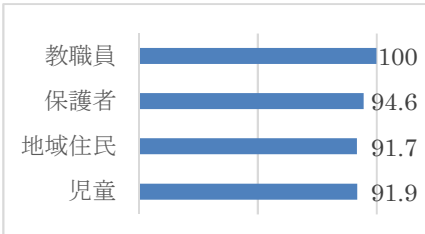
5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

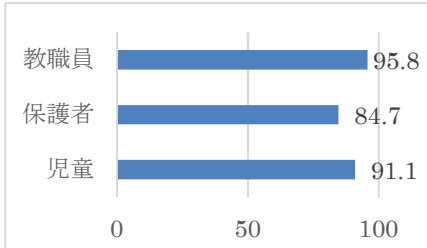
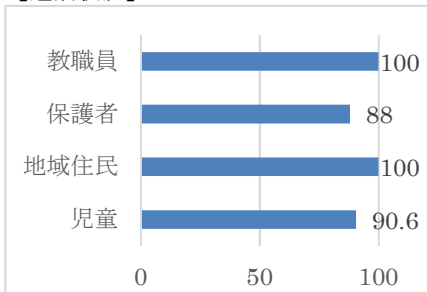
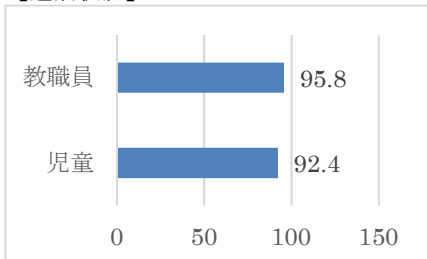
- (1) 学校運営
 - 学ぶ楽しさと、居場所のある学校
- (2) 学習指導
 - 主体的により深く学ぶ児童の育成
～主体的・対話的で深い学びを一人一人が実感して～
- (3) 児童生徒指導
 - 自他を認め、思いやりのある社会性を育む児童生徒指導の充実
～規範意識を高めるとともに、相手の気持ちを考えた行動ができる児童の育成～
- (4) 健康（保健安全・食育）・体力
 - 進んで体力向上に努めようとする児童の育成
～自らの健康について考えさせる指導を通してから～

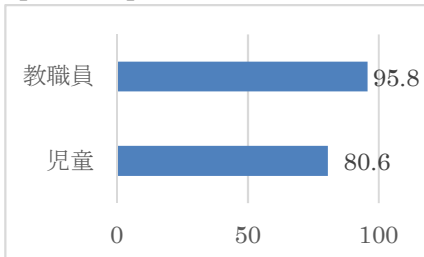
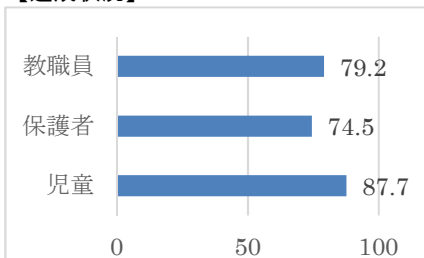
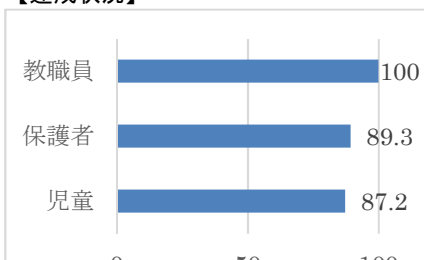
6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

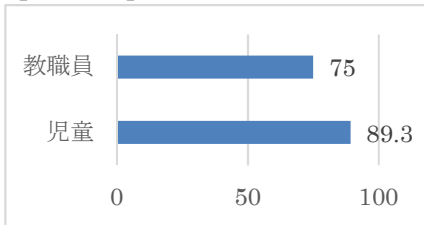
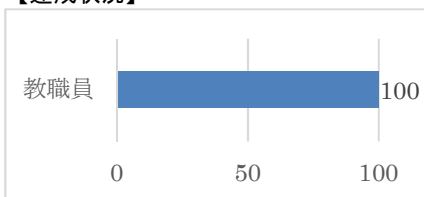
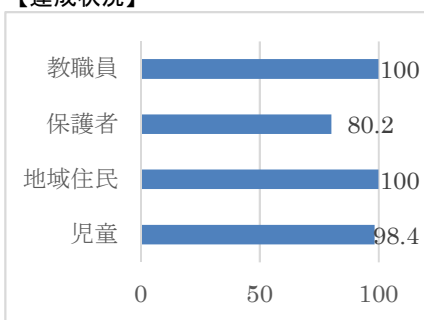
※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

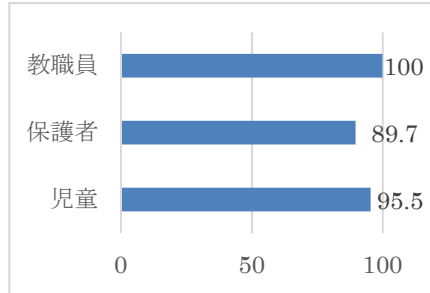
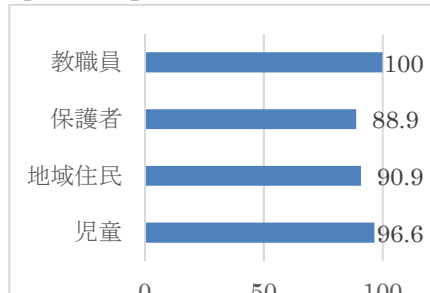
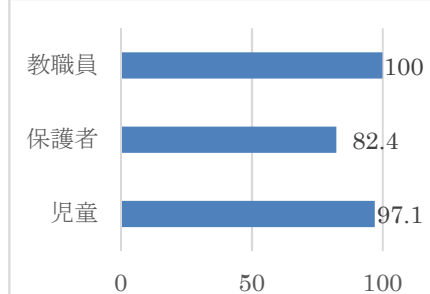
※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

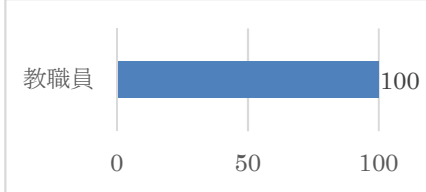
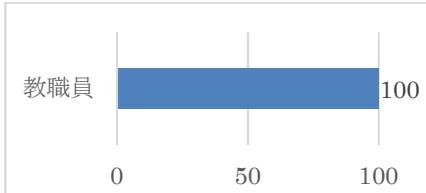
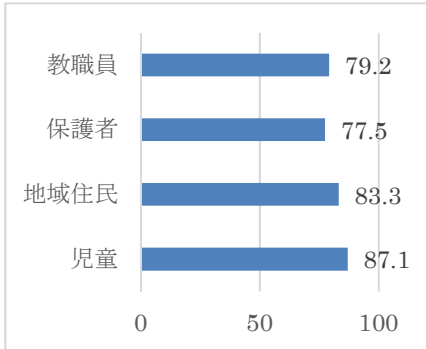
第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
1ー(1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、学習課題を解決するために、友達と話し合ったり、必要な情報を集めたりしながら、じっくり考え、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 学習課題を解決するために、話をじっくり聞いたり、発表したりするなどの学び合いを通して、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。 ② 国語科や特別活動の話し合い活動の実践を他の教科等にも生かして、主体的に話し合い活動を実践する力の育成を図る。 ③ 学習に進んで取り組む意欲を高めるために、宇都宮モデルを生かし、学習の始めには学習のめあてを設定し、見通しをもって学習に取り組む、振り返りの時間を設け、自己の学びの確認をする。 ④ 1人1台端末を積極的に活用し、必要な情報を集め考えることを通して、進んで学習に取り組めるようにする。	B	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>100</td></tr><tr><td>保護者</td><td>91.7</td></tr><tr><td>児童</td><td>90.3</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成し、教職員においては100%であった。 【次年度の方針】 必然性のある学習活動を設定するとともに、まとめ・振り返りの時間で、自己の学びの確認につながるような授業の工夫をするとともに、1人1台端末を有効に活用し、進んで学習に取り組めるようにする。	教職員	100	保護者	91.7	児童	90.3		
教職員	100											
保護者	91.7											
児童	90.3											
1ー(2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 友達を呼ぶ時に「～さん」と呼ぶことを徹底し、道徳教育や人権教育の指導を充実させ、思いやりの心を育てていく。 ② 学校行事等との関連を図り、個に応じた指導の充実を図る。 ③ 教師の率先垂範による好ましい言語環境の構築を図り、相手の気持ちを考えた言葉遣いができる児童を育成する。 ④ 縦割り班活動や縦割り清掃等の充実を図り、思いやりの心や協力しようとする態度を育む。	B	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>100</td></tr><tr><td>保護者</td><td>94.6</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>91.7</td></tr><tr><td>児童</td><td>91.9</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成し、教職員においては100%であった。 【次年度の方針】 縦割り班活動の充実を図り、相手を思いやる心を育てられるようにする。	教職員	100	保護者	94.6	地域住民	91.7	児童	91.9
教職員	100											
保護者	94.6											
地域住民	91.7											
児童	91.9											

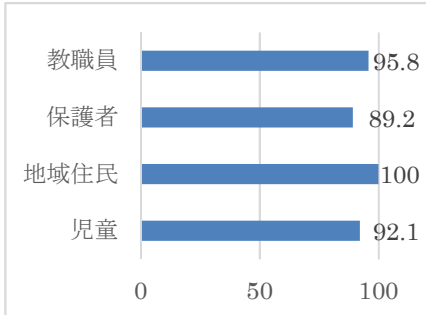
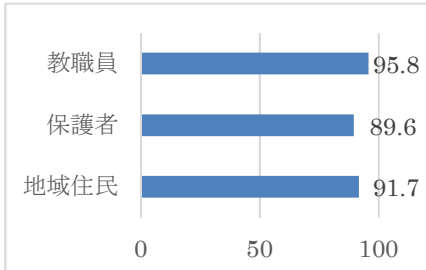
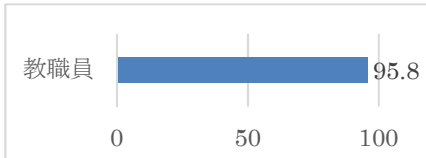
	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 夢や目標に向かって努力することの大切さについて指導するとともに、児童の内面を共感的に受け止め一人一人を大切にし、やる気と自己有用感に満ちた児童を育成する。 ② 児童が集団の中で自分らしさを発揮し、他と協働する体験や、競い合い高め合う体験を重ね、一人一人と望ましい集団を育てる。 ③ キャリアパスポートを活用し、本人の目標や取組を認め伸ばす指導により自尊感情、自己肯定感を高め、その様子を家庭に知らせるようにする。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>95.8</td></tr><tr><td>保護者</td><td>84.7</td></tr><tr><td>児童</td><td>91.1</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成した。 【次年度の方針】 達成感が得られるような、身近で具体的な目標を立て、計画的に取り組めるようにする。目標が達成できた場合は、褒め、励ますなど、一人一人を大切にした指導を行う。	教職員	95.8	保護者	84.7	児童	91.1		
教職員	95.8										
保護者	84.7										
児童	91.1										
1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 給食時の身支度指導（特にマスク）、歯みがきや保健委員会の取組など、学校生活の中の様々な保健指導を通して、基本的な生活習慣を身に付け、衛生的・健康的な生活ができるよう指導する。 ② 各教科等における安全に関する指導の充実を図り、ルールやマナーの指導を徹底し、怪我や事故の未然防止に努める。 ③ 手洗い・消毒・換気などを継続的に指導し、感染症予防に努める。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>100</td></tr><tr><td>保護者</td><td>88</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr><tr><td>児童</td><td>90.6</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成し、教職員と地域住民においては、100%であった。 【次年度の方針】 日頃から、感染症予防や衛生面の観点から、マスクの着用等について、養護教諭、学校栄養職員と連携し、健康教育を徹底していく。	教職員	100	保護者	88	地域住民	100	児童	90.6
教職員	100										
保護者	88										
地域住民	100										
児童	90.6										
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、自分の良さや考えを生かしたり、周りと協力し合ったりして進んで生活をよりよくしようとしている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① Q-U 検査やお話タイム等を活用し、児童一人一人の思いを受け止め、よりよい学級とするための手立てとする。 ② 自己有用感を高める道徳や学級活動等を実施し、望ましい人間関係の形成や児童が自己決定できる場の設定を図る。 ③ キャリアパスポートを利用しながら、教師から児童へ積極的な声掛けを行い、目標に向けた取組を、意図的・計画的・継続的に行うようにする。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>95.8</td></tr><tr><td>児童</td><td>92.4</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成した。 【次年度の方針】 学校生活の中で明確な目標を立て、その都度振り返る機会をもつことで、自尊感情や自己肯定感を高められるようにする。	教職員	95.8	児童	92.4				
教職員	95.8										
児童	92.4										

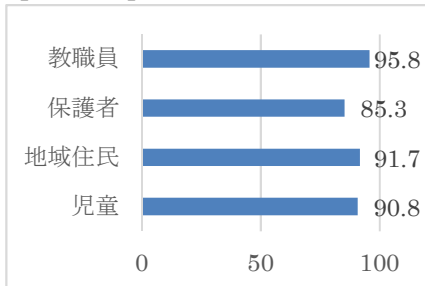
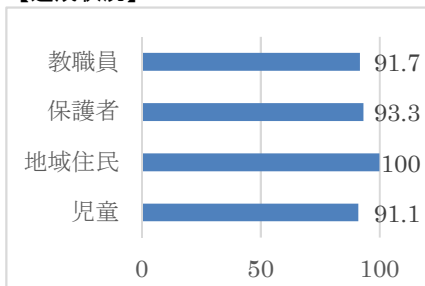
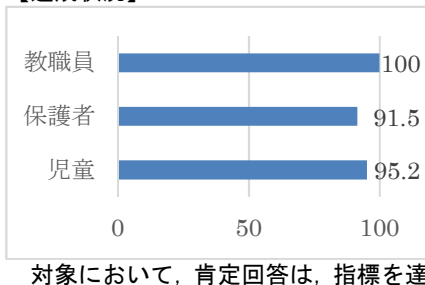
2ー(1) グローバル 社会に主体 的に向き合 い、郷土愛 を醸成する 教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 教材研究の充実やA L Tとの連携により、英語のみでの学習時間を設定するなど、英語によるやりとりを中心とした授業実践の推進を図る。 ② 学校行事等へのA L Tの参加やA L Tとの交流の場の工夫を行い、生きた英語に触れる機会の充実を図る。 ③ 教材等、備品の管理や校内掲示の工夫を行い、外国語活動に向けた環境整備の推進を図る。	B	【達成状況】  <table><tr><th>対象</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>95.8</td></tr><tr><td>児童</td><td>80.6</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成した。 【次年度の方針】 学年の発達段階に応じた英語表現にできるだけ慣れ親しめるよう、授業内容を工夫する。	対象	達成率 (%)	教職員	95.8	児童	80.6		
	対象	達成率 (%)										
教職員	95.8											
児童	80.6											
A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 生活科・社会科・総合的な学習の時間・道徳等の学習において、地域や郷土に関連付けた課題の設定を行う。 ② 特別活動(学校行事等)・校外学習における体験的な学習の場の設定を行い、保護者にもその様子を発信し、児童が郷土宇都宮に対する理解を深められるよう、発達段階に応じて郷土に関する学習を推進する。 ③ 宇都宮学の学習を通して、宇都宮の良さについて学習する。	B	【達成状況】  <table><tr><th>対象</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>79.2</td></tr><tr><td>保護者</td><td>74.5</td></tr><tr><td>児童</td><td>87.7</td></tr></table> 児童では、肯定回答が指標を達成したが、教職員では0.8ポイント、保護者では5.5ポイント指標を下回った。 【次年度の方針】 引き続き、校外学習における体験的な学習の場を設定し、保護者にもその様子を発信することで、宇都宮の良さを各家庭で話題にしてもらえるようにするとともに、宇都宮学を他教科でも活用し、幅広く宇都宮のよさを実感できるようにする。	対象	達成率 (%)	教職員	79.2	保護者	74.5	児童	87.7	
対象	達成率 (%)											
教職員	79.2											
保護者	74.5											
児童	87.7											
2ー(2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 授業における実践を通して、デジタル・シティズンシップ教育を行う。 ② I C T機器の効果的な活用や、I C T機器を使ってまとめたり伝えたりする活動を行い、情報活用能力の育成を図る。 ③ 朝の全校読書を充実させるとともに、図書資料を有効に活用した学びを充実させるために、学習ニーズの把握に基づいた関連図書情報の提供や市立図書館と連携した授業実践を図り、学校図書館の整備を推進する。	B	【達成状況】  <table><tr><th>対象</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td></tr><tr><td>保護者</td><td>89.3</td></tr><tr><td>児童</td><td>87.2</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成した。 【次年度の方針】 引き続き、デジタル・シティズンシップ教育を行うとともに、火曜日の朝の時間を読書タイム・読み聞かせの時間として校内で読書に親しむ。また、朝の活動にA Iドリルも有効活用する。	対象	達成率 (%)	教職員	100	保護者	89.3	児童	87.2
対象	達成率 (%)											
教職員	100											
保護者	89.3											
児童	87.2											

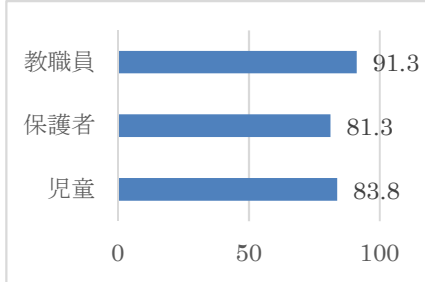
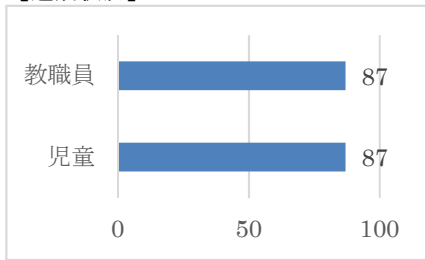
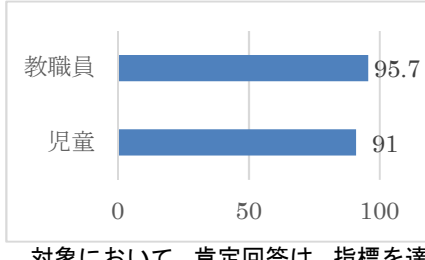
2ー(3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の『持続可能な社会』について、関心をもっている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 社会科・理科・生活科・総合的な学習の時間・家庭科・特別活動における活動において「持続可能な社会」と関連付ける学習活動の見直しや児童の実態に応じた具体的な活動内容の検討を行い年間指導計画を作成する。 ② 環境委員会主導で「持続可能な社会」(SDGs)に対する児童の関心を高め、ごみの分別・残菜を減らす取り組み・節電・節水などに対して意識を高め実践する。 ③ 「持続可能な社会」(SDGs)への取組の意義を考えさせ、取組への動機づけを図る。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>75</td></tr><tr><td>児童</td><td>89.3</td></tr></table> 児童では、肯定回答が指標を達成したが、教職員では5ポイント指標を下回った。 【次年度の方針】 環境委員会のみならず、各委員会・各教室において、SDGsにおける取組(ごみの分別、残菜を減らす取組、節電、節水など)を行う。	教職員	75	児童	89.3				
教職員	75										
児童	89.3										
3ー(1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① おはなしタイム(教育相談)や保護者との懇談を通じた児童理解の推進を図る。 ② 校内支援委員会やケース会議を活用して、指導目標・指導の手立て等の検討を行い、組織的指導の充実に努める。(会議の内容を全職員で共有していく) ③ 困り感を抱えた児童が自信をもって生活できるよう、かがやきルームにおける指導の充実を図る。 ④ 個別支援計画の有効活用を行う。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>100</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成し、100%である。 【次年度の方針】 今年度と同様に、校内支援委員会やケース会議を活用して、教職員間で情報を共有し、組織的指導の充実に努める。	教職員	100						
教職員	100										
3ー(2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 学年・学級懇談会や学校だより、HP等で積極的に学校の方針を説明・公表するとともに、保護者や地域といじめに関する情報交換に努める。 ② 「いじめは絶対に許さない」、「いじめには大人が介入する」を全教職員で認識し、児童の主体的な取組(いじめゼロ集会)も促しながら、未然防止、早期発見・早期解決に組織的に取り組む。 ③ 「いじめゼロ集会」の実施を行い、いじめゼロ強調月間の取組の充実を図る。 ④ おはなしタイム(教育相談)、Q-U検査等を活用した実態把握の工夫や年4回のいじめアンケートの実施と結果の効果的な活用を図る。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>100</td></tr><tr><td>保護者</td><td>80.2</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr><tr><td>児童</td><td>98.4</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成し、教職員と地域住民では、100%であった。 【次年度の方針】 児童の主体的な取組(いじめゼロ集会等)を積極的に発信することで、学校の取組を保護者や地域に知ってもらえるようにする。	教職員	100	保護者	80.2	地域住民	100	児童	98.4
教職員	100										
保護者	80.2										
地域住民	100										
児童	98.4										

	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 学年・学級経営計画に基づいた意図的・計画的な指導や教師と児童の協働・共遊を通して、居心地がよく、明るく活力に満ちた学級風土づくりを推進する。 ② おはなしタイム（教育相談）・Q-U検査の結果やスクールカウンセラーの効果的な活用に努め、児童の内面を共感的に受け止め児童一人一人を大切する。 ③ 日々の様子の記録等を活用した情報共有を推進し、対策委員会での共通理解に基づいた組織的計画的な支援を推進する。 ④ 別室登校支援等、児童の実態に応じた支援策の工夫に努める。	【達成状況】  <table><tr><th>対象</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td></tr><tr><td>保護者</td><td>89.7</td></tr><tr><td>児童</td><td>95.5</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成し、教職員では、100%であった。 【次年度の方針】 学級活動や委員会活動を活用して、一人一人が活躍する場を設けることで、認め励まし合う学級づくりに努める。	対象	達成率 (%)	教職員	100	保護者	89.7	児童	95.5		
対象	達成率 (%)												
教職員	100												
保護者	89.7												
児童	95.5												
3ー(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケート 「先生方は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとしていたりして、私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① おはなしタイム（教育相談）や懇談などを通して、本人の困り感を把握し、学校全体として本人の居場所を確保に努める。 ② 宗教や国籍や健康状態等を考慮し、事前に話し合い、学校行事への参加について判断する。 ③ Q-U検査の結果などを活用し、本人だけでなく学級全体の様子を把握・指導することで、互いに認め合える集団づくりに努める。	【達成状況】  <table><tr><th>対象</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.9</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>90.9</td></tr><tr><td>児童</td><td>96.6</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成し、教職員においては、100%であった。 【次年度の方針】 普段から児童の声に耳を傾け、悩みなどに丁寧に対応していく。名前を呼ぶ時には、さん付けで呼ぶことを徹底し、教師も率先垂範を心がけていく。	対象	達成率 (%)	教職員	100	保護者	88.9	地域住民	90.9	児童	96.6
対象	達成率 (%)												
教職員	100												
保護者	88.9												
地域住民	90.9												
児童	96.6												
4ー(1) 教職員の資質・能力の向上	A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 自己研鑽や学年共同での授業研究等を積極的に行い、児童一人一人が意欲をもって取り組める授業の工夫に心がけ、学力向上に努める。 ② T・Tによる学習や少人数による熟度別学習を充実させるとともに、特別支援教育の考え方を生かした指導を行うことで、個に応じた指導の充実を図る。 ③ ICT（特に1人1台端末）を効果的に取り入れ、個に応じた指導ができるようにする。 ④ スキルタイム（朝の学習）を充実させるとともに、家庭学習について「家庭学習のヒント集」（陽南地域学校園）を活用し、具体的な指導・支援を行うことにより、基礎・基本の確実な定着を図る。	【達成状況】  <table><tr><th>対象</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td></tr><tr><td>保護者</td><td>82.4</td></tr><tr><td>児童</td><td>97.1</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成し、教職員においては、100%であった。 【次年度の方針】 朝の学習等でも個別指導を取り入れ、個に応じた指導を行ったことが効果的だったため、引き続き継続して行う。	対象	達成率 (%)	教職員	100	保護者	82.4	児童	97.1		
対象	達成率 (%)												
教職員	100												
保護者	82.4												
児童	97.1												

4-(2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 管理職（副校長）による総合的な連絡調整の実施に努める。 ② 業務担当教職員との綿密な打ち合わせの実施を図る。 ③ 各スタッフによる関係教職員への積極的な情報提供の推進に努め、連携を密にし、チームとして組織的に対応する。 ④ 校内支援委員会等の各種委員会に専門性を有するスタッフも組織の一員として位置づけ、積極的な情報提供や意見を反映できるようにしていく。	【達成状況】  対象において、肯定回答は、指標を達成し、100%である。 【次年度の方針】 学年会やブロック会において、連絡を密にし、同一步調で取り組むようにする。問題発生時には、校内支援委員会やケース会議を迅速に開き、情報の共有や対応についてチームとして取り組んでいく。
4-(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 校内働き方改革計画を全職員で共有し、「働きがいがあり、働きやすい学校」を目指す。 ② 各教育活動の意義や目的を明確にし、業務の重点化を図ることで、業務縮減を実現する。 ③ リフレッシュデーの計画的な実施により、各教職員のタイムマネジメント力を向上させる。	【達成状況】  対象において、肯定回答は、指標を達成し、100%である。 【次年度の方針】 様々な専門スタッフの役割を明確にし、業務の見直しや改善を図っていく。改善できることには、迅速に取り組み、足元から改善を図るようにする。
5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】全体アンケート 「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 地域学校園として、各教科で身に付けさせたい力を年間指導計画に位置付け、教職員が9年間で児童を育てる意識がもてるようにする。 ② 小中一貫教育研修会の各部の話し合いの内容や乗り入れ授業の内容を全教職員で共有し、共通理解を図る。 ③ 給食だよりや図書館だより等の地域学校園共有発行を推進する。 ④ 小中合同のあいさつ運動や中学校訪問の機会を通して、児童生徒相互の交流を推進する。	【達成状況】  地域住民、児童の肯定回答は、指標を達成しているが、教職員においては0.8ポイント、保護者においては2.5ポイント指標を下回っている。 【次年度の方針】 小中の連携を密にして、課題を共有したり、連携を密にしたりしていく。また、広報にも力を入れ、保護者や地域にも積極的に発信していく。活動を広げたり、周知したりするために、挨拶運動などは、小中に限らず地域にも呼びかけ地域ぐるみで取り組むようにしていく。

5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 学校便り、学年便り、保健便り、食育便り、図書館便り等の工夫と定期的発行やホームページでの情報の積極的な発信・提供を行い、家庭・地域・企業等との連携・協力を推進する。 ② 生活科や総合的な学習の時間における体験活動を中心とした交流活動の推進や地域団体・地域人材の積極的な活用を通して、地域と共に歩む魅力ある学校づくりを推進する。	【達成状況】  対象において、肯定回答は、指標を達成し、地域住民は 100%であった。 【次年度の方針】 より地域に開かれた教育課程を展開していくために、地域人材の積極的活用や外部講師の積極的な招聘に取り組んでいく。
6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 縦割り班清掃活動の児童と教師の協働による日常の清掃活動等を充実させ、環境の保全に努める。 ② 長期休業前の清掃強化週間の有効活用や奉仕活動の充実を図る。 ③ 地域協議会と連携し、安全・安心な環境づくりの推進に努める。 ④ 安全点検結果に基づく、計画的な修繕の実施に努め、修繕補修を迅速に行い、安全な学習環境づくりを推進する。	【達成状況】  対象において、肯定回答は、指標を達成した。 【次年度の方針】 清掃において、清掃の時間だけでは手が届きにくい場所などを、保護者の協力を得て実施をするなど、計画的に実施していきたい。
6- (2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】全体アンケート 「コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 職員研修により、1人1台端末を日常的に文房具として活用した授業づくりを行うためのスキルを身に付ける。 ② 学校用グループウェア・校務支援システム・デジタル連絡ツールの効果的な活用について全教職員で共有する。 ③ 作成データの保存や管理を組織的・計画的に行う。	【達成状況】  対象において、肯定回答は、指標を達成した。 【次年度の方針】 引き続き、研修でスキルを身に付けたり、データの共有で授業の準備を速やかにできるようにしていく。

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B 1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 代表委員会の計画であいさつ運動強化週間を実施したり、あいさつ標語を掲示したりするなど、児童の主体的な活動によるあいさつの励行に努める。 ② 陽南中学校地域学校園や、緑が丘小学校魅力ある学校づくり地域協議会との連携を図り、保護者、地域と連携協力したあいさつ運動を実施する。 ③ 下学年では、積極的に元気にあいさつするよう指導し、上学年では状況に合わせて会釈を活用していくなど工夫したあいさつができるようにする。	B	【達成状況】  <table><tr><th>対象</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>95.8</td></tr><tr><td>保護者</td><td>85.3</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>91.7</td></tr><tr><td>児童</td><td>90.8</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成した。 【次年度の方針】 学年に応じた挨拶ができるように、指導を継続していく。	対象	達成率 (%)	教職員	95.8	保護者	85.3	地域住民	91.7	児童	90.8
対象	達成率 (%)													
教職員	95.8													
保護者	85.3													
地域住民	91.7													
児童	90.8													
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B 2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】全体アンケート 「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 基本的生活習慣を身に付けようとする意識を高めるために、「緑が丘小生活のきまり」を各学級に掲示し、きまりの意義を考えさせ、重点目標について繰り返し指導する。 ② 児童の発想を生かし、児童の実態に合わせた生活目標を設定したり、季節や行事に合わせた生活目標を設定したりして全教職員で重点的に指導に当たる。	B	【達成状況】  <table><tr><th>対象</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>91.7</td></tr><tr><td>保護者</td><td>93.3</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr><tr><td>児童</td><td>91.1</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成し、地域住民においては 100%である。 【次年度の方針】 今年度と同様に、児童が主体となって（代表委員）生活目標を設定し、きまりを守ろうとする意識を高める。	対象	達成率 (%)	教職員	91.7	保護者	93.3	地域住民	100	児童	91.1
対象	達成率 (%)													
教職員	91.7													
保護者	93.3													
地域住民	100													
児童	91.1													
地域学校園共通課題	B 3 児童生徒は、コミュニケーションをとることで生活をより良くしようとしている。 【数値指標】全体アンケート ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 国語や学級活動で、話合いの仕方を学ぶことを通して、積極的にコミュニケーションを取り、問題を解決しようとする態度を育てる。 ② 道徳の学習において、相手の立場になって考えたり、考え議論したりすることを通して、一人一人の自己肯定感を育て、自他を認め、思いやりの心を育てていく。 ③ 学級活動や児童会活動の自治的活動を通して、コミュニケーションをとることで、課題を解決することの良さを実感できるよう支援する。	B	【達成状況】  <table><tr><th>対象</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td></tr><tr><td>保護者</td><td>91.5</td></tr><tr><td>児童</td><td>95.2</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成し、教職員においては、100%である。 【次年度の方針】 学級活動や児童会活動で、話し合う機会を多く設けることで、コミュニケーションをとる良さを感じられるようにする。	対象	達成率 (%)	教職員	100	保護者	91.5	児童	95.2		
対象	達成率 (%)													
教職員	100													
保護者	91.5													
児童	95.2													

地域学校 園共通課 題	B 4 児童生徒は、宿題や 自主学習、読書など家庭学 習をしている。 【数値指標】全体アンケート ⇒児童・教職員・保護者の肯定 的回答 80%以上	① 1,2年では、宿題や音読、読書な どに取り組み、家庭学習に取り組 めるようにする。3年生以上では、 陽南地域学校園「家庭学習のヒ ント集」を活用し、毎日家庭学習 に取り組めるようにする。 ② 発達の段階に応じて、「計画・テ スト・分析・練習」のサイクルで自 主学習が行えるよう、学級懇談会 や学習指導便りで家庭に伝え、毎 日計画的に家庭学習に取り組め るようにする。 ③ 学びへの興味・関心を高める授業 づくりに努め、授業の復習や発展 学習、予習などに自ら取り組もう とする意欲付けを図る。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>91.3</td></tr><tr><td>保護者</td><td>81.3</td></tr><tr><td>児童</td><td>83.8</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成した。 【次年度の方針】 引き続き、発達段階に応じて適宜指導しながら、宿題や家庭学習に取り組めるよう、授業を通して意識付けを図る。	教職員	91.3	保護者	81.3	児童	83.8
教職員	91.3								
保護者	81.3								
児童	83.8								
小・中 学 校、地 域 学 校 共 通、本 校の特色・ 課題等	B 5 児童は、体力づくりに 関心を持ち、進んで体力 の向上に励んでいる。 【数値指標】児童・教職員ア ンケート 「自分は、運動集会や、検定 のとき、目標に向かって努力 している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 各種検定カードの効果的な活用 を図り、自分のめあてに向けた体 力づくりの推進に取り組むとと もに家庭でも取り組んでいける よう呼び掛けていく。 ② 「うつのみや元気っ子健康体力チ ェック」の結果分析を生かし、年 間を通した体力向上に取り組む。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>87</td></tr><tr><td>児童</td><td>87</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成した。 【次年度の方針】 運動集会など、体力づくりへの関心を 高める取組を実施をしていく。検定カー ドに目標決定をする欄を設け、児童が自 分から目標を設定し、進んで活動に取り 組めるようにする。	教職員	87	児童	87		
教職員	87								
児童	87								
小・中 学 校、地 域 学 校 共 通、本 校の特色・ 課題等	B 6 豊かな人間関係力を育 てる場を工夫し、社会性 の育成に努めている。 【数値指標】児童・教職員ア ンケート 「学級活動や縦割り活動で、 友達と協力して進んで活動し ている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 係活動や当番活動など自主的な 活動を通して、学級での人間関係 力を高める。 ② 特別活動の研究を生かし、児童会 活動や縦割り班活動がより児童 の主体的な活動となるよう工夫 する。 ③ 委員会活動やクラブ活動におい て児童による自治的な活動を実 践する。児童の良さを生かしてみ んなに認められ、自己肯定感を感 じられる場を意図的に設定する。	【達成状況】  <table><tr><td>教職員</td><td>95.7</td></tr><tr><td>児童</td><td>91</td></tr></table> 対象において、肯定回答は、指標を達成した。 【次年度の方針】 特別活動の一層の充実を図り、児童が 主体的に取り組めるよう工夫をしていく。 縦割り班活動や児童集会では、児童の発 想を生かした活動が展開できるように していく。	教職員	95.7	児童	91		
教職員	95.7								
児童	91								

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 「児童生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」では、児童・保護者ともによい結果であった。
- ・ 「児童生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている」については、児童がよい結果であった。
- ・ 「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」「学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である」「教職員は、分かる授業や児童生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている」について、児童は良好な結果であったが、保護者の評価はよいとはいえない。
- ・ 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」について、地域からよい評価を得られた。
- ・ 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」「勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」について、職員の肯定的回答が100%であった。
- ・ 保護者の回答率が48%と低く、保護者全体の傾向をとらえることができたとは言い難い。

7 学校関係者評価

1 全般的事項

- ・ やはり保護者の関心が課題だと感じるので、まずは、「気を引く」「目に付く」ことが一番と思うので、情報発信の際に工夫をお願いしたい。
- ・ 安全面に関する評価が低下しているのが気になる。ヒヤリ・ハットの点検をもう一度検討いただきたい。
- ・ 授業参観を含め、学校の様子や集団での様子を見られる機会を増やしていただきたい。
- ・ 学校と保護者の情報共有や相互理解は、とても大切。コミュニケーションの場を積極的に設けてほしい。
- ・ 授業開始の挨拶、終了時の挨拶の継続をお願いしたい。
- ・ 子供たちが、先生方に抵抗なく声を掛けている雰囲気が、とてもいいと思う。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校運営】

- ・ 一人一人の児童が大切にされ、認め励まされることで伸び伸びと学校生活を送り、自己肯定感や自尊感情を育ていけるようにする。
- ・ 職員や地域の人々との豊かな関わりを通して、夢や目標をもち、それらに向かって努力を積み重ねることのできる児童を育成していく。
- ・ 学校に係る職員が協力し合ってチームとして業務に取り組み、課題を解決していく。

【学習指導】

- ・ まとめ・振り返りの時間で必然性のある学習活動を設定するとともに、自己の学びの確認につながるような授業の工夫をする。1人1台端末を有効に活用し、進んで学習に取り組めるようにする。
- ・ 朝の学習でも個別指導を取り入れ、個に応じた指導を効果的に行ったり、自主学習を意識付けたりする。
- ・ 主体的、対話的で、深い学びの実現に向け、ペアやグループなどでの話し合い活動の充実を図るようにする。

【児童生徒指導】

- ・ 決まりを守ろうとする意欲を高めるために、代表委員が主体となって生活目標を設定する。
- ・ 児童に適切な支援を行うため、校内支援委員会やケース会議を活用し、教職員間で情報を共有する。
- ・ 認め励まし合う学級づくりのため、学級活動や委員会活動の充実を図り、一人一人が活躍できる場を設ける。

【健康(保健・食育)体力】

- ・ 児童の健康や体力の実態を的確に把握し、一人一人が目的意識をもって自己の健康を保持・増進できるよう指導を充実させる。
- ・ 今年度は、体育委員会がドッジビー交流会を開いたので、来年度も同様に運動集会を開催していきたい。